

け

継続的な支援を次につなげる

【発達障害の高校生への進路支援の例】

急な予定変更で不安になり やすいA子さんの事例



〇〇中学校

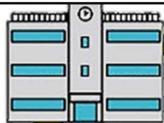


ASDのA子さんは、小学校から引き続いて特別支援学級に在籍し、腕時計をはめて時間を見通しながら行動できるように支援を受けてきました。

引継ぎ



△△高校



高校入学後は、個人面談等で自己理解を深めるとともに大学進学後の独り暮らしに向けて、時間通りに一人で起床する習慣や自由時間の過ごし方について学校と保護者が連携して支援を進めてきました。

引継ぎ



□□大学



大学生になると、学生支援センターより派遣された支援員と日々のスケジュール表を作り、アパートから一人で通っています。